

# 5歳児 山の組・海の組

## 保育研究シート

2023年2月10日（金）

（担任）灰谷知子・伊藤綾子・戸田実穂

### 1. 子どもたちの姿

小学校という少し先の未来を楽しみにしながら、今幼稚園でやりたい遊びを思い切り楽しもうと3学期のスタートをきった。2学期から続くドッジボールや砂場遊びなどは、新たに興味をもった子も加わり、繰り返し楽しんでる。一人の子どもが1学期からずっと夢中になっている「宇宙」の遊びは、もはやその子だけに留まらず、多くの友達とイメージを共有しながらレストランや映画などで細く長く続いている。一方、コマ回しなどの新しい遊びに挑戦しようとするが続かない、獅子舞を見たことをきっかけに始まったお祭りごっこがひと時ぱつと盛り上がりて戻すほみになるなどの姿もあった。

前週、豆まきが近いことをクラスで話題にすると、昨年度の年長が活躍したことを思い出し、今度は自分たちの番という声があがった。豆箱屋の出店、様々な鬼作り、太鼓の合図など、一人ひとりができることを考えて取り組み始めたので、その様子を互いに感じ合い、関わり合いながら準備を進めていけるよう意識して、教師も支えた。当日は年少児、年中児が驚いたり楽しんだりしてくれて、皆で一緒にやり遂げたという満足感を得たようだった。

そのような体験を経た今週、一人ひとりの充実を基盤に、互いの思いに耳を傾け合い、関わり合いの中で遊びや生活がより一層豊かになっていくように願っている。

### 2. 子どもへの願い（かかわりの視点から）

#### \*自分とのかかわり ～挑戦しようとする気持ちをもち、自信につなげる～

一人ひとりが好きな遊びにじっくり取り組みながら、新しいことにも挑戦してみようと、前向きな気持ちももってほしい。一人ひとりが得た自信を、友達との関わりの中でも発揮してほしい。

#### \*人とのかかわり ～友達と互いに認め合いながら遊びを進める楽しさを味わう～

友達との関わりの中で、互いに認め合い、気遣い、分かち合う豊かさを味わい、力を合わせて思いを実現する喜びを味わってほしい。

#### \*もの・こととのかかわり ～いろいろなことに興味を広げ、友達と協力しながら遊びや生活を進める～

子どもたち同士のつながりが広がり、深まり、一人ひとりの力が充分発揮できるような遊びや生活を、子どもたちと教師と一緒ににつくっていききたい。

### 3. 本日の流れ

時間	幼児の活動	留意点・手だて
9:00 ～9:10	登園 挨拶・身支度 遊びや生活を進める ＜保育室・廊下（アトリエ）＞ 製作・ごっこ遊び・ショーの準備・コマ回しなど ＜園庭・お山＞ ドッジボール・サッカー・鬼ごっこ・縄遊び・砂場・泥遊び・モルモットのお世話など ＜遊戯室（組み木の場）＞ 大型積木・キングブロック・ショー・コマ回しなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりと挨拶を交わしながら体調等に留意し、遊び出しの様子を見守る。</li> <li>前日までの遊びの流れに配慮しつつ子どものやりたいことを受けとめ、場や物の準備を丁寧に進められるよう教師も共に動く。</li> <li>いろいろな人が関わり合うことで、遊びがより深まっていくような場の作り方、素材や道具等を工夫する。</li> <li>新しいことに挑戦する姿を認めたり、励ましたりしながら、面白さや達成感を味わえるよう教師間で連携して援助する。</li> <li>互いの思いや、遊びのコツ、やり方等が伝わり合うように、教師も一緒に遊びながらやりとりを支える。</li> <li>使い終えた物を元に戻す、落ちているものを拾うなど気が付いて取り組む姿を認め、みんなで心地よく生活できるようにする。</li> </ul>
10:40 11:10	片付け・身支度・トイレなど 集まり 本、歌、話し合いなど 来週の予定等を共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども同士で互いに声をかけあい、遊びに区切りをつけたり、協力して片付けに取り組んだりできるよう働きかける。</li> <li>周囲の流れを感じながら、丁寧に身支度を進められるよう促す。</li> <li>友達や教師の話に耳を傾け、みんなで過ごす時間を楽しめるように内容を工夫する。</li> </ul>
11:30	降園	<ul style="list-style-type: none"> <li>翌週に期待を持ち、気持ちを合わせて挨拶する。</li> </ul>

# <最近の遊びマップ>

## <園庭>

### サッカー・フットボール

体を動かすことが好き。得意な子どもを中心に連日楽しんでいる。3学期、新たに興味をもつ人もいるので、教師も参加して、いろいろな人が入りやすい雰囲気をはじめている。ボールが力強く入り、チームで作戦を考えることも面白くなってきている。

**鬼ごっこ** 氷太、逃走中、ドロボイ 自分たちでルールを考え、伝え合いながら、年中児も混ぜて楽しんでいる。今週は年少児とマラソンも始まった。

### <コート室>

気の合う友達と数名で過ごす時に選ぶ人がいる。ショーや劇でも、よく使われる。

### <アトリエ>

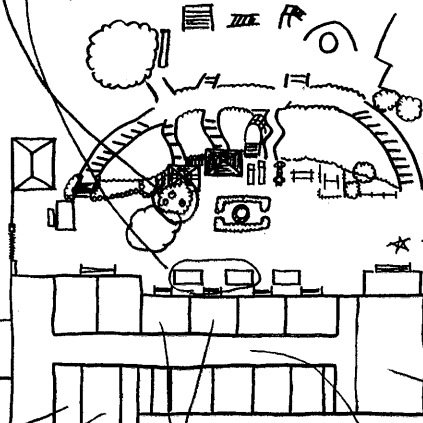
必要に応じて多目的に使える部屋。2学期刊、お弁当や食器作り、宇宙ミュージアム、こねちゅう展、行きぐりなどに活用してきた。保育室とは違う場所で、また、遊びを残しておけることで、月替わりが広がり、遊びが広がっていくよう支えている。

### 夏みかん採り

手作りの道具で友達と協力して採っている。職員室に届けてもらって、みんなに振る舞うことも嬉しい。

### 砂場

深く掘る、水路をつよげる、水を流すなどダイナミックに遊ぶ。



### <山・海保育室>

生活の拠点。製作やごっこ遊びなど、やりこむことに安心して取り組む。

### <廊下>

いろいろな人が行き交い、各学年の様子が伝わってくる。

### お店屋さん

年少・年中児が来てくれると張り切って接客。

回ると本当にうれしい！  
みんなで大喜び！

## <お山>

### スライダー

縄を工夫して糸結び、Tシャツが滑りにいい！面白そう、やってみていいじわじわ広まっている。

### チョコレート工場

土をふるって作る「ココア」を水と混ぜると、まるでチョコレート。型抜きをして、より本物らしく♡

3学期は組み木の家のつくりにも夢中。周りでキャンプごっこも楽しい。

## <遊戯室>

### 大型積木・キングブロック

友達と力を合わせて構成する面白さを味わっている。出来上がりは場所と場所のつよがりも大切にしたい。

### コマ回し

クラスを越えて、子どもたちが出会い、互いにコツを伝える、刺激を受け合うことで、月替わりの中で挑戦できる場。雰囲気を工夫している。だんだん回せる人が増えてきて、広い遊戯室で回す、数名で勝負する姿も見られ始めた。

自分とのかかわり

・節分に向けての風作りでは、段ボールに全身を描く、カラービニールや不織布で服を作り、金棒やお面を身に付けてなりきりなど、自由な発想が溢れていた。いろいろなやり方を認め合える雰囲気作りを心がけ、1人ひとりが新しいことにも挑戦してみようと前向きに取り組めるように働きかけた。

・豆箱は、年少・年中さんに渡すことを投げかけながら、知っている子どもが少ないうちから提案してみたり、やり方は難しいが、友達や教師の姿を見ながら何とかがやってみるうちに、できると嬉しくなったり、何個も作ったり、みんなで作った箱の数を数えて喜んでいた。時には少し困難なことに取り組むことも、1人ひとりの自信につながっていき支えていきたい。

・お山の上の遊具にロープを張り結びつけ、ジップラインを作ることには挑戦する子がいた。なんとかして滑り降りたいと試行錯誤を繰り返す姿を認め、友達との関わりの中からも発揮しているよう支えていきたい。

ひととの関わり

・好きな子どもが繰り返し取り組むサッカーやドッジボールでは、子どもも同士の関係の中で言いたいことが表せなかったり、新たな子どもが仲間に加わりにかかったりする様子があった。教師も一緒に遊びに入り、興味を持った子どもが入りやすく、風通しが良くなるような雰囲気を作っていた。

・初めて夏みかん採りに挑戦した子は、慣れた友達に助けられながら、何とか採れたことを喜び合い、「僕が採りました」と誇らしげに職員室に届けていた。友達に刺激を受け、助け合いながら、共に喜びを味わえるよう支えていた。

・親子体操を各クラスで楽しんだ。保護者とのふれあいを喜ぶ姿が多く、日々の遊びや降園時の集まりなどでも、取り入れていきたいと感じた。

・細跳びをしている時や、節分の日に学年で集った時などに歌う機会を取り入れた。嬉しそうに歌う姿があった。コロナで、みんなで歌う経験の少ない子どもたち。声を合わせたり、心地よいリズムを共に味わったりする体験を、日々の遊びや生活の中で大切にしていきたい。

ものこととの関わり

・節分に向けて、これまでに自分たちが経験してきた「豆まき」のイメージを、降園時にクラスで共有してから、山の組保育室を拠点に鬼作りや豆箱作りを始めた。1週間をかけて作り続ける中で、「ここは鬼が島だ」というイメージが共有され、連日増えるいろいろな鬼や、友達が集まってくる姿に興奮されて、新たな子どもが徐々に加わりながら、学年で今年の豆まきを創りあげていった。当日は、それぞれが張り切って役割を担い、年少児・年中児が楽しんで(位)しまわり、今年も豆まきをする姿に憧れ、達成感を味わう様子を感じられた。今週の遊びの中でも、子ども同士とのつながりが広がり、深まっていくような遊びや生活を子どもたちと教師とでつくっていった。

・寒い中でも陽射しの温もりはあり、保育室に差し込む光でパーベキューごっこをしたり、お山の上でつけた泥を使ってチョコレート作りをしたり、この時期ならではの自然を楽しむ姿があった。

\*週のねらい

- 友達と互いの思いや考えに耳を傾け合い、イメージを重ねながら、遊びや生活を進める
○挑戦しようとする気持ちをもち、自信につなげる

○友達と互いの思いや考えに耳を傾け合い、イメージを重ねながら、遊びや生活を進められるように

- ・一人ひとりのやりたい気持ちが表現できるよう受け止め、一人ひとりの充実が仲間と関わる原動力になるように援助する。
・遊びをつくり上げていく過程が互いに見えるように、場をつくりかたや素材や道具選びを工夫し、いろいろな人が関わり合いながら遊びが継続していくよう支える。
・互いの思いや考え、イメージなどを伝え合い、認め合えるような雰囲気や関係性を作れるよう援助する。
・冬の季節感を五感を通して豊かに味わえるよう、子どもたちの発見を共感的に受け止め、教師も一緒に楽しむ。(夏みかん採り、霜柱探し、花壇の水やりなど)
・年少・年中児が楽しんだり、喜んでいたりすることが自分たちの自信となっていくような遊びや関わりを子どもと共に考える。
・手洗い、もの管理、扱いなど、一人ひとりの様子を再確認し、丁寧な生活を送れるよう配慮する。
・子どもたちが見通しをもって生活を進めていくことができるようにする。(降園前の時間に予定を確認し合うなど)
・友達と一緒に歌い嬉しさを心地よさを味わえるように、遊びや生活の中で体験を重ねていけるようにする。
・昼食は、いろいろな友達と食べること、関わりを広げる機会ともなるように、くじ引きなど新たなやり方を投げかける。

\*アトリエでの遊び…いろいろな友達と関わりやすく、作った物や場を残しておきやすいアトリエの特性を活かして、新たな遊びを展開していきよう支えたい。

○挑戦しようとする気持ちをもち、一人ひとりの自信につながるように

- ・じっくり遊び込み、達成感や充実感を得ている姿を機を逃さず認め、一人ひとりの自信につながっていくようにする。
・やってみようとして動かし出した子ども同士が、根気よく続けたり、刺激を合ったりできるような環境づくりに工夫し、教師も連携しながら支えていく。
・その人らしさを発揮しながら、互いに助け合い、励まし合い、喜び合える仲間との関係を積み重ねていけるような教師の身体性を意識する。
・やってみようとする気持ちをもつことが、機会を捉えて声をかけたり、一歩踏み出せるよう後押ししたりする。

\*投げゴマ …コマとじっくり向き合えるよう、コマを伝えたり、友達と工夫したり励ましたりできる場や環境を整えたりする。

回せるようになる過程や、その後のつながりなどを捉えながら、個々の取り組みを支えていく。

\*ドッジボール・鬼ごっこなど…いろいろな友達と身体を動かして遊ぶ中で、関わりがより豊かになっていくよう、教師も一緒に動きながらやりたい気持ちや遊びが

Table with 5 columns: 6日(月), 7日(火), 8日(水), 9日(木), 10日(金). Rows include activities like '登園・身支度', '遊びや生活を進める', and '園庭/ドッジボール・サッカー'.

絵本・紙芝居: 季節に関する話(冬、氷など) 手遊び・歌: 「ちきゅうはみんなのものなんだ」「カレンダーマーチ」 ゲーム: ジャンケン列車、ジェスチャーゲームなど